

ノーベル賞授賞式ツアー報告会

日本被団協が、ノーベル賞を受賞しました。本当に嬉しいことです。兵庫県から7人が授賞式ツアーに参加しました。これから、私たちはどうやっていけばいいのか、次世代につながる平和運動について、話合しましょう。

日時：2月11日(火)14:00～16:30（受付13:30）

〈第一部〉ノーベル賞授賞式ツアーの報告

講師：浅野 英男（あさの ひでお）さん

1996年生まれ。茨城県出身。一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」事務局スタッフ。

創価大学国際教養学部、神戸大学大学院国際協力研究科博士前期課程を卒業後、フルブライト奨学生として米国ミドルベリー国際大学院モントレー校に進学。米中の核政策やNPT・核兵器禁止条約における核軍縮などについて学び、2022年に修士（不拡散・テロリズム学）を取得。大学院在学中には、ジェームズ・マーティン不拡散研究所（CNS）大学院生研究助手や核脅威イニシアティブ（NTI）グローバル核政策プログラムインターンなどを務めた。核兵器禁止条約第1回締約国会議・第2回締約国会議、第10回NPT再検討会議などに日本の市民社会の一員として参加。



◆参加者からの報告 壺井 宏泰（つぼい ひろやす）さん、他参加者から

〈第二部〉「被爆80年夏に向けたプロジェクトと、核兵器禁止条約などをめぐる国内外での若者のつながりの広がり」

講師：高橋 悠太（たかはし ゆうた）さん

2000年広島県福山市生まれ。一般社団法人かたわら代表理事。

核兵器の廃絶と、意義あるユース参画を目指してアドボカシー（政策提言）を行う。2024年G7サミットで核兵器廃絶を主要議題にすべく、多分野のNGOと協力して、議長国イタリアでの市民社会会合に渡航して、働きかけを行う。また9月の未来サミットで、核軍縮と意義あるユース参加などを実現するための「未来アクションフェス」実行委員。また、徳島県鳴門市議会、神奈川県藤沢市市議会で「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を地元の市民とともに採択した。法人名には、「核のない世界を目指すあなたの傍らに」という意味を込めた。中学1年から学校のクラブ活動で、多くの被爆者らと出会い、核問題や、人権問題に関わり始める。学生団体「KNOWNUKESTOKYO」創設。2022年、核兵器禁止条約締約国会議、NPT再検討会議に渡航し、現地でスピーチした。横浜市在住。慶應義塾大学法学部卒。

場所：神戸市立中央区文化センター11階 1103、1104

神戸市中央区東町115番地 電話番号：078-381-7899

最寄り駅：JR・阪神・市営地下鉄西神線三宮駅から徒歩6分神戸市役所西側

参加費無料ですが、「核兵器をなくす日本キャンペーン」への席上カンパあります。定員 80名です。

共催：兵庫県原爆被害者団体協議会、兵庫県被爆二世の会

連絡先：中村典子 携帯090-7759-5964 E-Mail:michikobe6@gmail.com

